

授業科目名 (ナンバリングコード)	トレーニング科学特講演習 (トレーニング科学)	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高井 洋平・山本 正嘉			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	<p>山本：トレーニング科学の分野において、自分が興味を持つテーマについて修士論文作成のシミュレーションを行う。課題は、「過去と現在における研究状況をふまえて、研究目的に当たる部分を「起承転結」の4パラグラフで表現する」とする。自分が参考とする先行研究の緒言についても、同様に4パラグラフに構造分けしてみる。これを持ち回りで発表し、それをもとに全員で討議する。座長も持ち回りで行う。</p> <p>高井：トレーニング科学分野の論文を作成するシミュレーションを行う。“トレーニング”をキーワードに、各自が興味あるテーマを題材に、研究の目的・仮説の設定、方法および予想される結果について発表し、それについて全員で討議する。</p>				
成績評価の方法	授業への取り組み状況 (70%) レポート等の提出状況 (30%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に判断・評価する。				
テキスト、教材 参考書	必要に応じて、授業の際に参考図書を紹介する 山本：「アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学」(市村出版)をテキストとして用いる				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	発表はパワーポイントで行うこととする。		
オフィス・アワー	<p>随時可能ですが、事前にアポイントを取るほうが確実です。  (山本：スポーツトレーニング教育研究センター2階・センター長室、yamamoto@nifs-k.ac.jp)  (高井：スポーツトレーニング教育研究センター2階・教員室2、y-takai@nifs-k.ac.jp)</p>				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	高井 洋平 山本 正嘉	オリエンテーション (トレーニング科学の研究をするための方法論について)			
2	山本 正嘉	課題の説明 (自分の研究分野での過去と現在の研究状況をふまえて、自身の研究の「目的」を起承転結の4パラグラフで表す)	関連の参考書に目を通しておく (1時間)		
3	〃	例) 専門種目のトレーニング1 (陸上競技、水泳、自転車競技、水上競技など)	当該分野での過去と現在の研究状況やその変遷を調べ、まとめておく (1時間)		
4	〃	例) 専門種目のトレーニング2 (球技、武道、採点競技など)	当該分野での過去と現在の研究状況やその変遷を調べ、まとめておく (1時間)		
5	〃	例) 基礎体力のトレーニング (力、スピード、持久力、バネなど)	当該分野での過去と現在の研究状況やその変遷を調べ、まとめておく (1時間)		
6	〃	例) スキル面のトレーニング、メンタル面のトレーニングなど	当該分野での過去と現在の研究状況やその変遷を調べ、まとめておく (1時間)		
7	〃	例) リハビリテーショントレーニングなど	当該分野での過去と現在の研究状況やその変遷を調べ、まとめておく (1時間)		
8	高井 洋平	トレーニング実験の課題の説明 (以下の点に着目し、研究の目的、方法、予想される結果をプレゼンテーションする)	関連する先行研究を調べ、以下の点に注意してその内容を調べておく (1時間)		
9	〃	・トレーニング実験を行う際の仮説の立て方	先行研究の緒言の構成を調べておく (1時間)		
10	〃	・トレーニング実験を計画する際の留意点	先行研究の緒言と方法を整理しておく (1時間)		
11	〃	・仮説の検証方法 (実験プロトコルなど)	先行研究の方法 (実験プロトコル) を調べておく (1時間)		
12	〃	・トレーニング実験のデータの採取と分析	先行研究のデータ取得の手法を調べておく (1時間)		
13	〃	・図表の作成技術	先行研究の図表のレイアウトを調べておく (1時間)		
14	〃	・プレゼンテーション技術	プレゼンテーションに関する注意点を調べておく (1時間)		
15	〃	・パワーポイントの作成	パワーポイントの作成に関する注意点を調べておく (1時間)		